

引用文献

- 1) Hess, P. U. H. Brezowsky, 1952: Katalog der Grosswetterlage Europas. Ber. Dt. Wd. Us. 33, Bd. 5.
- 2) 齋藤昭, 1970: 本邦における対流圏の風向別気温の研究 (1), 天気, 17, 365~370.
- 3) 齋藤昭, 1971: 本邦における対流圏の風向別気温の研究 (2), 天気, 18, 500~504.

第16期 第18回常任理事会議事録

日時 昭和47年3月24日(金) 15h~19h

出席者 大田, 関口, 大井, 小平, 藤原, 神山, 駒林, 関原, 北川, 岸保, 各常任理事

列席者 窪田長期計画委員長, 丸山長期計画委員, 鈴木庶務委員

報告抜萃

[庶務]

1. 2月29日(財)東レ科学振興会々長から, 昭和46年度東レ科学技術賞ならびに同科学技術研究助成金受領者の決定通知がきた。本学会推薦は入選しなかった。

2. 3月9日, 日本学術会議会長から, 3月27日, 日本学術会議講堂で, 学術会議と学協会の懇談会を開催すると通知がきた。大井理事が出席する。

3. 2月21日, 各理事に, 学会賞, 藤原賞受賞候補者について書面審査を依頼した。その結果全員可であったので2月28日付けで各受賞者に通知した。

4. 2月22日, 各理事に, 総会提出議題(会費値上げに伴う定款の一部改正外1件)について書面審査を依頼した。

結果 可22名, 未回答2名, また沢田理事から奨励金受領者選定規定の一部改正についての提案理由につき意見が寄せられた。

5. 2月28日, 朝日学術奨励金候補として新田勲会員(東京学芸大)外2名の「熱帯大気中における大規模じょう乱の研究」を推薦した。

6. 3月1日, 各支部長に, 現在の会員名簿原稿を添え, 4月1日現在に訂正方の依頼をした。

7. 3月8日, 各理事に, 沖縄復帰に伴う措置についての総会提出追加議題と, 関西支部規約の一部改正について書面審査を依頼した。

結果 沖縄復帰に伴う措置について 可21, 未回答3.

関西支部規約の一部改正 可20, 保留1, 未回答3.

8. 3月24日, 日本気象学会関西支部規約の一部改正を承認した。

[会計]

1. 2月分会計報告

2. 大気放射国際会議の寄付金募金状況

内諾額88万円 入金額191万円 計279万円

[気象集誌]

気象集誌の寄贈, 交換については, 原則として交換を中止する方向で再度検討する。

[ノート]

No. 111, No. 112, No. 113の予定報告。

地方公共団体等(公害関係)に日本気象学会入会のおさそい状を出したい。

(議題とする)

議 題

1. 総会準備について

1) 提出議題 次の3件とする。

・会費値上げに伴う定款の一部改正

・沖縄支部設置と沖縄地区選出の理事の定数を1名とする細則の一部改正

・学会奨励金受領者選定規定改正

2) 理事長あいさつ

3) 事業経過報告

4) 事業計画

5) 予算案

配付の資料について議論された。次回の常任理事会で更に検討する。

2. 日本気象学会長期計画について

秋までに答申案を提出することとし, 総会では経過報告をする。

各理事は、意見があれば4月10日までに出すこと

3. その他

1) 秋季大会シンポジウムについては下記のとおりとする。

題目、日本海の気象

- ・寒気の吹出しに伴う日本海の気象

新 潟 久 保 田 効

- ・日本海側の雪の長期予報

新 潟 百 瀬 悦 也

- ・日本海の波浪

金 沢 浅 井 利 夫

- ・自由討論

発言者 名 大 樋 口 敬 二

気象大学 駒 林 誠

を予定

座 長 久 保 次 郎, 田 中 文 治

の両氏を予定

2) 天気編集委員の変更

久保木（長期予報）転勤に伴ない辞任，後任に沖政（高層）田崎（電計）を委嘱する。

3) 地方公共団体等（公害関係）への入会勧誘状を発送することを承認

4) 事務局員の定年について

満68歳（3月31日現在）を定年とする。ただし本件は昭和48年3月末日から実施する。

油本幸夫外9名の入会を承認する。